

39. 農作業を通じた心のケアと交流の場の創出事業

～休耕田が蘇り、つどいの場に 収穫の喜びはみんな～

特定非営利活動法人 おおむたわいわいまちづくりネットワーク

理事長 岡本 雅子

活 動 目 的

高齢者の生きがいつくりと居場所づくり

地域の休耕田の再生

活 動 概 要

高齢化が進む本地域には、耕作ができなくなった畑が 300 坪程度あり、雑草が生い茂り、景観を損ねていました。

この耕作放棄地を借り上げ、田畑を蘇らせるとともに、自分だけでは農作業ができなくなった高齢者が、地域のみんなで、無理なく楽しくお米や野菜をつくり、収穫したお米や野菜を地域の交流拠点（三池山 途中駅ときつ・当団体が高齢者の買い物支援事業でオープンさせたもの）で料理して食べることができるよう、この事業に取り組みました。

2年間で耕作放棄地を再生することを目標に、田んぼを耕し、稲を作りましたが、今年の秋にはうるち米、もち米を収穫でき、地域活動及び交流会などの食事会で提供しました。

地域のひとり暮らしのお年寄りや子どもたちを招待して餅つき大会も開催し、楽しい交流事業ができました。お餅は帰りにお土産に渡すなど、好評でした。

この事業に参加する高齢者は、徐々に増加し、外出することが少なかった高齢者は、いろんな世代の住民と触れ合いながら農作業を楽しんでいました。

地域外からも手伝いに来て、交流するなど、盛り上がりをみせています。

さらに、田んぼの他に・奄美大島から取り寄せたサトウキビの苗を植え付けし、11月末に収穫しました。

地域の高齢者は、次の目標に向かい、自分に何ができるか考え、一歩ずつ進みだしました。

この助成金を活用し、この事業を実施することができたことで、耕作放棄地は再生し、地域の環境が改善したばかりでなく、高齢者の生きがいつくり、孤独の解消にも貢献でき、感謝しています。

決 算 報 告 書

収 入	
大同生命厚生事業団助成金	100,000
NPO 法人の事業費	71,370
支 出	
稲 代	15,540
肥 料 代	26,241
消 毒 代	2,820
ガソリン代	8,819
鎌5本	3,950
雁爪5本	20,000
草刈り機 2機	94,000
合 計	171,370

活動状況



荒地の雑草を、機械を借りて刈り取り（写真左）

機械でできないところは、手作業で（写真右）



雑草もなくなり、こんなにきれいに（写真左）

溝を作って田植えができる状況に（写真右）



水を張って田植え開始です（写真左）

機械でできないところは手作業で。みんなで力を合わせます（写真右）



こんなにりっぱにそだちました（写真左）

稲穂に実がついてきました（写真右）



さとうきびもこんなに大きくなって（写真左）

収穫したお米で食事会。笑顔がいっぱい（写真右）